



青森中央学院大学 (青森県)

日本語学習と日本文化・地域交流が体験できる研修プログラム

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

青森中央学院大学は青森市にある大学で、1998年に開学しました。日本で初めて「経営法学部」という学部を作り、時代のニーズに合わせた教育を行っています。また、大学院には地域マネジメントを学ぶコースや研究所もあります。

2014年には看護学部ができ、看護師や保健師を育てるための教育も始めました。

青森中央学院大学は、専門的な仕事に必要なスキルを身につける教育や、国際交流、地域社会への貢献に力を入れています。特に国際交流や地域貢献の活動は国際交流センターを中心に行い、高く評価されています。

さらに、ラーニングコモンズやアクティブラーニング室、学生ラウンジなど、学生が学習しやすい環境も整えています。



春のキャンパス

大学内の桜並木は4月中旬頃に満開になります。

大学図書館

静かなサイレントスペースと、グループワークを想定したラーニングコモンズに分けられます。



② 国際交流の実績

海外機関との協定校数：57校・1機関

うち大学間交流協定数：24校

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2025年：留学生数98人、日研生1人

2024年：留学生数84人、日研生1人

2023年：留学生数79人、日研生1人

④ 地域の特徴

青森市は、本州の一番北にある青森県の県都で、約26万人が住んでいます。

市内には青森空港があり、東京や大阪など日本国内のほか、韓国の仁川や台湾の台北とも飛行機で行けます。また、新幹線の新青森駅があり、青森から東京まで簡単に移動できます。

自然が豊かで四季を楽しむことができます。農林水産業も盛んで、特に「青森のりんご」は世界でも有名です。人々は優しく親切で、物価も安いので、留学する人にとっても生活しやすい環境です。



■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

b) 主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

(1) 日本語の学習等

日研生は、経営法学部に所属し、自分の能力に応じた日本語クラスで学習します。日本語クラスは、初級から上級までレベル別で編成されています。

日本語以外にも経営法学部で開講されている専門科目を受講することができ、研究テーマに応じて経営系や法学系の学習をすることもできます。

また、日本語担当教員が指導教員として指導にあたるため、きめ細かな指導を受けることができます。

(2) 日本文化・体験研修等

年間約50回の国際交流活動・日本文化体験活動・農林水産業体験活動・ホームステイ等のプログラムを用意しており、地域の人々と様々な交流活動を行うことができます。

③ 受入定員

2名（大使館推薦1名、大学推薦1名）

④ 受講希望者の資格、条件等

- ・ J L P T : N2以上に合格していること。
- ・ 日本語又は英語で会話が可能であること。

⑤ 達成目標

- ・ コース修了者はN1程度のレベルに達すること。
- ・ 文法力、会話表現、言葉遣い、ヒアリング等が適切に使えること。
- ・ 日本語・日本文化研修の結果をまとめ、レポート等にまとめること。

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2026年9月下旬 ～ 2027年8月下旬
（在籍期間：2026年10月1日～2027年8月31日）

⑦ 奨学金支給期間

2026年10月 ～ 2027年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

9月：渡日（2025年は9月16日～17日）

オリエンテーション・健康診断

10月：青森体験（奥入瀬溪流・十和田湖紅葉狩り）
地域交流体験（農家民泊）

11月：青森体験（りんご狩り）
語学講座（日本人学生への母国語紹介）

12月：学生交流会（クリスマスパーティー）

1月：日本文化体験（雛人形飾りつけ）
定期試験

4月：入学式・学生会館合同歓迎会
青森体験（観桜会）

5月：学生交流会
語学講座（日本人学生への母国語紹介）

7月：日本文化体験（七夕飾り作り）
留学生全体ガイダンス

7月下旬～8月上旬：定期試験、研究レポート完成

8月：青森体験（ねぶた祭）
日本語・日本文化研修修了
修了式

8月下旬：帰国（2025年は8月29日）



⑨ コースの修了要件

- ・日本語必修科目3単位、選択科目8単位を取得すること。
- ・指導教員による演習を修了すること。
- ・日本文化・青森文化体験や地域交流体験に5回参加すること。
- ・必要単位を取得し、体験活動も行い、到達目標に達した場合、修了証書（日本語・英語）を発行します。
- ・成績証明書を発行することができます。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

シラバス

<https://upass.aomoricgu.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml>

授業は全て日本語で行われます。

1) 研修・コース科目の特徴

日研生はN2レベルあるいはN1レベルの文法・語彙を学ぶクラス（日本語Ⅲ、学術日本語）、レポートの書き方を学び実際にレポートを作成するクラス（日本語Ⅳ）、ビジネス日本語のクラスのうち2つを前・後学期で1つずつ履修することになります（最初に取りうるクラスはプレイスメントテストの結果によります）。日研生として書く最終レポートは日本語担当教員がきめ細やかに指導します。



2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目（時間数・内容）

- ・日本語Ⅲ 90時間（N2程度の文法/読解/作文）
- ・日本語Ⅳ 60時間（読解/作文/レポート作成）
- ・学術日本語 90時間（N1程度の文法/読解/レポート作成）
- ・ビジネス日本語 30時間（仕事上で使う日本語を学ぶ）

II) 選択科目（時間数・内容）

前学期開講科目

- ・暮らしと地域 30時間（地域学習）
- ・日本の政治と経済 30時間（日本の政治と経済を学ぶ）

後学期開講科目

- ・暮らしと経済 30時間（地域学習）
- ・日本の歴史と文化 30時間（日本の歴史と文化を学ぶ）
- ・日本の社会 30時間（日本の社会を学ぶ）

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等に参加出来る科目及びその具体的な内容

インターンシップや地域密着型の課題探求科目があります。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

選択科目の「暮らしと地域」と「暮らしと経済」は共修科目です。

日本人学生が「国際交流学生サポーター」として、留学生を支えます。特に最初の半年は1人1人に担当の「パディ」がつくので、青森での生活や授業に関する不安も解消されるでしょう。



⑪ 指導体制

日本語担当教員：田中 真寿美 准教授

里見 文 講師

日本語教育スタッフ：兒玉 晴代

日本文化・体験研修等担当教職員：

藤巻 啓森 国際交流センター長・教授

寺井 和夫 国際交流担当次長

金川 利江子 国際交流課課長

留学生チューター：同じ国の先輩留学生が日常生活上の指導・助言を行います。

国際交流学生チューター：日本人学生との交流や行事等を通して有意義な留学生活になるよう支援します。

■宿 舎

日研生はキャンパス内にある学術交流会館に入寮することができます。学部生は全員2人部屋を使用します。

学術交流会館紹介動画

https://youtu.be/5_IBeRiXme8?si=QEzt51GuI09NdFBR

研修中の寮費として、渡日前に1年分、外国送金してもらいます。

入館金： 54,500円 寮費(年間)：330,000円



●学術交流会館

2DK（ルームシェア）：個室設備

エアコン（冷暖房）、ベッド・洋服ダンス、机・イス・本棚、コルクボード・ゴミ箱、スリッパ・防災セット、カーテン、インターネット環境

2DK（ルームシェア）：共有設備

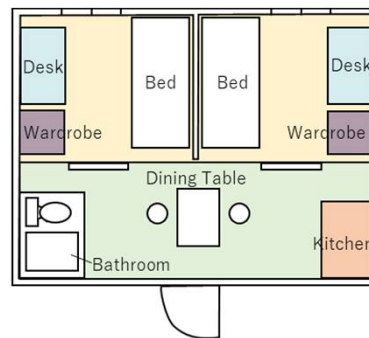
ユニットバス、シャワーカーテン、シューズボックス、キッチン（IHヒーター付）、食卓テーブルセット

会館共用設備

カフェテリア（1階）、コインランドリー（各階）

備考

- ・門限等、集団生活に必要な規則があります。
- ・各自の部屋は自分で清掃します。洗濯機、石油ストーブの持込みは厳禁です。
- ・調理には備え付けのIHヒーターを使用してください。ガスコンロの使用は厳禁です。
- ・電気代は日研生負担です。
- ・水道・ガス・インターネット料金の請求はありません。



■修了生へのフォローアップ

修了生にはFacebookなどを利用し、大学の情報を提供、双方向の交流を継続しています。

また、海外同窓会のメンバーとして、帰国後も交流を進めています。



■問合せ先

<担当部署>
青森中央学院大学国際交流課

住所：〒0300132
青森県青森市大字横内字神田12番地

TEL：+81-17-728-0131（代表）
FAX：+81-17-738-8333
Email：international@aomoricgu.ac.jp

<ウェブサイト>
青森中央学院大学：
<https://www.aomoricgu.ac.jp/>

青森中央学院大学国際交流センター
公式 Facebook：
<https://www.facebook.com/acguiee>
公式 You Tube：
<https://www.youtube.com/channel/UCmbBt90406nIqLh35gu6ISg>